



# 個人投資家様 ご説明資料

**P C I ホールディングス株式会社**  
(東証スタンダード市場 : 3918)

2025.12.18

# 目 次

1. P C Iグループとは
2. 市場環境
3. 各事業会社のご紹介
4. サステナビリティ
5. 業績
6. 株主還元
7. 株価推移
8. まとめ



PCIグループとは

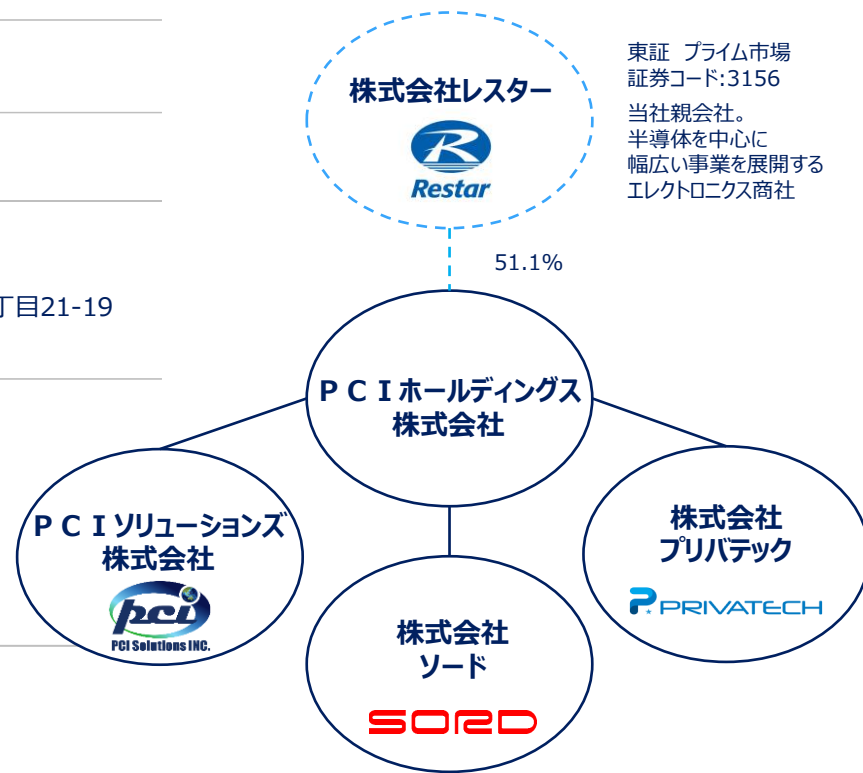
# 会社概要 (2025年3月末現在)



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, INC.)	資本金	2,091百万円
設立	2005年4月	従業員数 (連結)	1,632人
上場	東京証券取引所 標準市場 証券コード：3918	所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19
代表者	代表取締役社長 森下 健作		

## 沿革

- 2005年 4月 株式会社M&S設立
- 2007年 4月 PCIホールディングス株式会社に社名変更
- 2015年 8月 東証マザーズ市場に上場
- 2016年 9月 東証一部へ市場変更
- 2021年 1月 株式会社ソード買収
- 2024年 9月 株式会社レスターの連結子会社に



年月	略歴
1984年4月	富士通(株) 入社
2002年11月	同社 マーケティング本部プラットフォーム商品企画部長
2011年5月	同社 プラットフォーム営業推進本部長
2014年4月	同社 統合商品戦略本部長
2016年4月	(株)富士通マーケティング (現富士通 Japan(株)) 執行役員 商品戦略推進本部長
2021年4月	富士通コワーコ(株) 代表取締役社長
2024年12月	当社 取締役戦略推進本部長
2025年6月	当社 代表取締役社長



## 代表取締役社長 森下 健作

富士通グループにてマーケティングおよび商品戦略に従事し、その経験を活かし、2025年にPCIホールディングスの社長に就任

## 企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて**全社員の幸せ**を追求し、  
そして**社会の発展**に貢献します。

## パーパス

「ITの力で様々な社会課題を解決する」

PCIの由来：

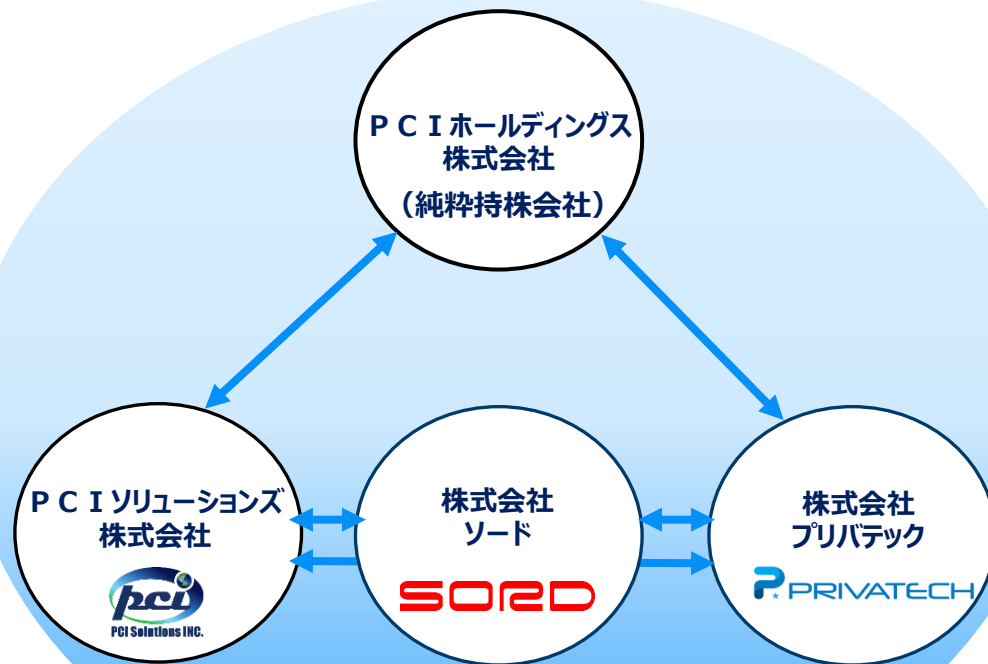
「**P**ositively（積極的）」

「**C**hange（変化）」

「**I**nnovate（革新）」

## システム開発からPC開発、半導体設計まで幅広く手掛けるIT企業





- 各事業会社に必要な権限を委譲
- 各事業会社の強みを醸成
- 共創により、新たな価値創造へ

**グループ全体の  
総合力の強化**

## 「ITの力で様々な社会課題を解決する」



技術力

幅広い分野での開発実績



リレーションシップ

強固な顧客基盤



高付加価値

AI/クラウドなどの  
最先端技術



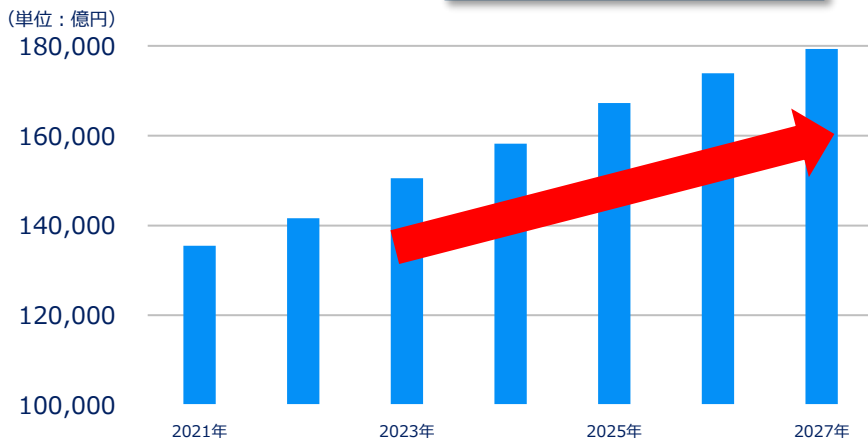
# 市場環境

# 国内IT市場動向

- 市場規模は右肩上がり成長
- 最先端IT人材の不足が見込まれている

## 国内IT市場予測

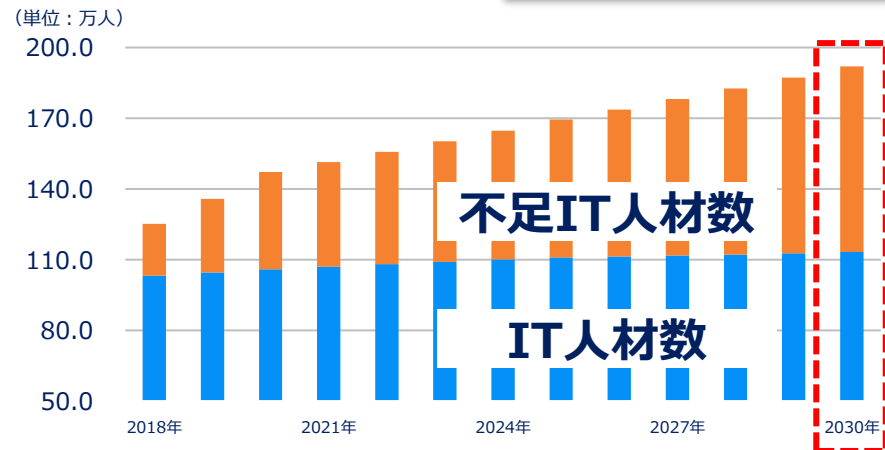
2023年-2027年  
CAGR : 4%



出典：矢野経済研究所「国内企業のIT投資に関する調査を実施（2025年）」  
[https://www.yano.co.jp/press-release/show/press\\_id/3974](https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3974)

## IT人材不足数予測

2030年  
約79万人不足



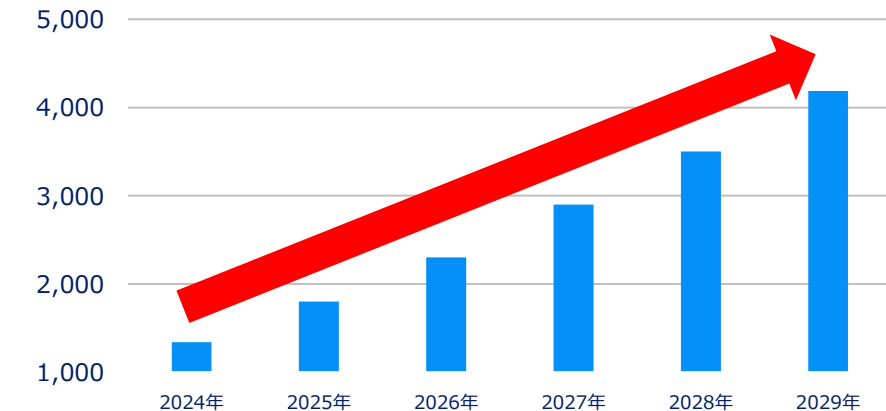
出典：経済産業省「IT人材需給に関する調査」(2019年)  
[https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/jinzai/houkokusyo.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf)

- 国内AI市場は2029年までに4兆円越えの規模に成長

## 国内AI市場予測

2024年-2029年  
CAGR : 25%

(単位：十億円)



出典：IDC「2024年国内AIシステム市場予測を発表」  
<https://my.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ53362125>

- 検索エンジンの使用からAI使用の検索へ移行
- 人が自ら行う作業からAIに実行させる作業に変化
- 人が命令をしなくても、AIが状況を判断し、先回りして提案



# 各事業会社のご紹介

## グループの中核を担い、幅広い分野での開発実績を持つ



### 安定事業：システム開発

- ・自動車などの製造業を中心に、流通/金融/通信/官公庁など業種を問わず幅広い分野においてシステム開発を提供

### 成長事業：最先端技術

- ・AI、クラウドなどの最先端技術を手掛ける
- ・R&D子会社(PCIソリューションズ総合研究所)を保有



安定事業

## 製造業

自動車/建設機械の  
制御ソフトウェア開発、  
各種アプリケーション開発



## エンタープライズ

産業流通/金融/医療から  
通信/官公庁まで様々な  
領域でのシステム開発



成長事業

## AI

AIを使用し、顧客の  
ビジネス課題解決や成長を  
支援するソリューションを提供

## 自動車や建設機械などの制御系ソフトウェアの多数の開発実績



### **SDV\*1、AD/ADAS\*2**

自動運転や運転者の安全・利便性を支援する機能など、自動車を制御し機能を向上させるシステムの開発



### **AUTOSAR\*3**

自動車業界における標準規格のプラットフォームを利用した車載システムの開発



### **建設機械**

建設機械のGPSによる把握や、機器制御から自動化分野まで幅広い分野でのシステム開発

\*1 SDV (Software Defined Vehicle) : ソフトウェアによって車両の機能や特性を定義/制御され、アップデートを通じて、購入後も機能が向上する自動車の概念。

\*2 AD/ADAS (Autonomous Driving(自動運転)/Advanced Driver-Assistance Systems(先進運転支援)) : 自動運転と運転者の安全や利便性を支援するシステム。

\*3 AUTOSAR (Automotive Open System Architecture) : 自動車業界のソフトウェア開発の効率化を図るために、車載ソフトウェア開発の共通化を目指したプラットフォームの標準規格。

# エンタープライズ：業務システム/インフラ分野

産業流通/金融から通信/官公庁まで多岐に渡る分野での業務アプリケーション開発やインフラ構築の実績。特にクラウドを利用したシステム開発やインフラ構築が強み。



## 業務システム

業種を問わず幅広い分野で顧客の業務アプリケーションを開発。  
またERPや業務パッケージの導入・カスタマイズ・運用支援も提供



## インフラ

顧客の要望に合わせ、オンプレ環境もクラウド環境も設計・構築から運用メンテナンスまでを提供

## 画像系AIの知見を活かした新規ソリューションの創造

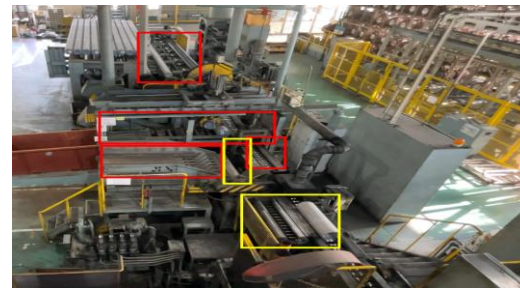
### Intel社コンテスト受賞



分散AI・協調システム



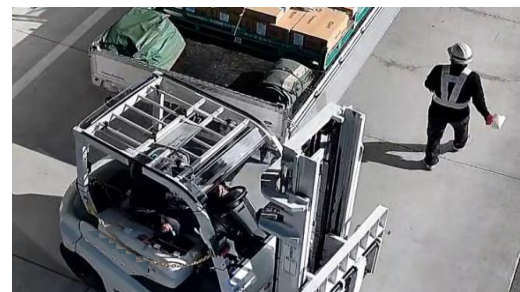
自律分散AIプラットフォーム



工場の製造ラインの  
部材の  
『追跡ソリューション』



高速道路で後方からの  
接近車両から作業員を守る  
『後方検知ソリューション』



フォークリフトと  
接近する人を検知する  
『警報ソリューション』

## 製造業のお客様の課題を解決するAIを使ったソリューション



過去のデータや不具合を学習したAIが、製品開発/設計をサポート。  
属人化、職人の技術継承などの課題を解決

## 産業用/特定用途向けPCを開発

# SORD



**M200**  
1977年発売。  
日本初のPCを開発\*1

安定事業：産業用PC開発

- ・医療機器(CT/MRIなど)や複合機などの「部品」として組み込まれるPCなどの開発

安定事業：特定用途向けPC開発

- ・医療事務など、安定して24時間稼働可能なPCの開発

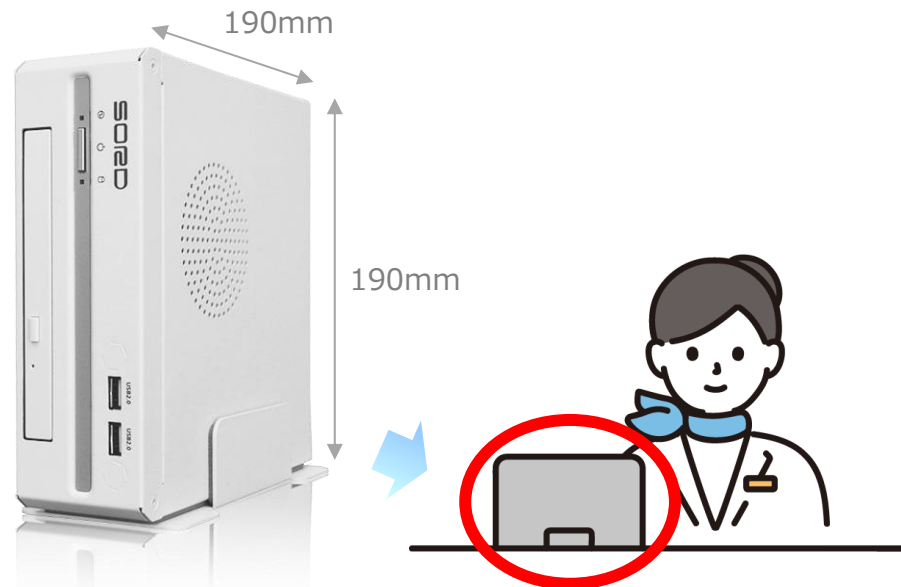
製品の一例をご紹介します：  
CT/MRIなどの医療機器、複合機などを構成する内側の部品に  
ソード製のPCが使われています



製品の一例をご紹介します：

「FAB-s110」は、省スペース、24時間稼働で、医療事務システム向けなどに導入

- ・24時間連続稼働可能
- ・省スペース\*1
- ・長期供給/長期保守



\*1：省スペース：サイズ W:190mm D:190mm H:61mm

## 半導体の設計/テスト、センシングシステムに特化した技術を持つ



安定事業：半導体設計/テスト

- ・半導体の設計/テストまでを行う事業を展開

成長事業：センシングシステム

- ・各種センサーを利用した顧客ニーズに添ったソリューションを提供

LSI・半導体の設計/テストの工程は、以下のような流れで行われます。  
この一連の工程をワンストップでご提供します（量産を除く）

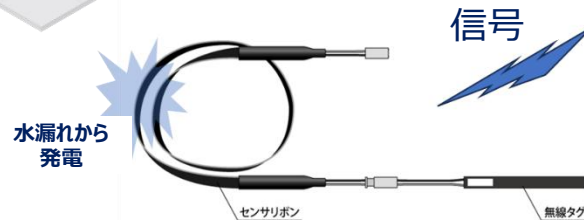


技術力の一例をご紹介します：  
バッテリーが不要な漏水検知ソリューションが、顧客から高評価



## 水漏れ時スマホに通知

バッテリー不要な  
顧客目線の  
ソリューション提供



## 通知例

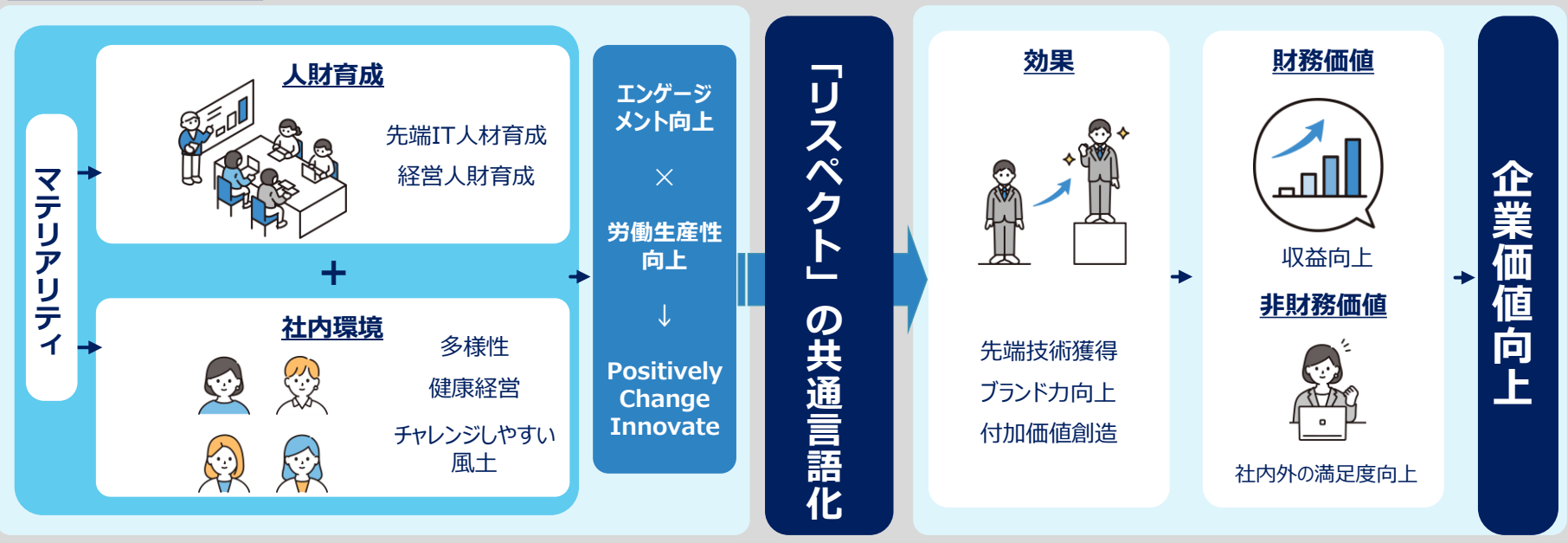


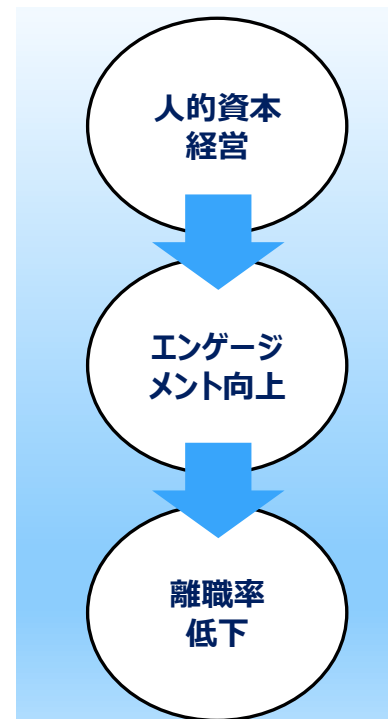
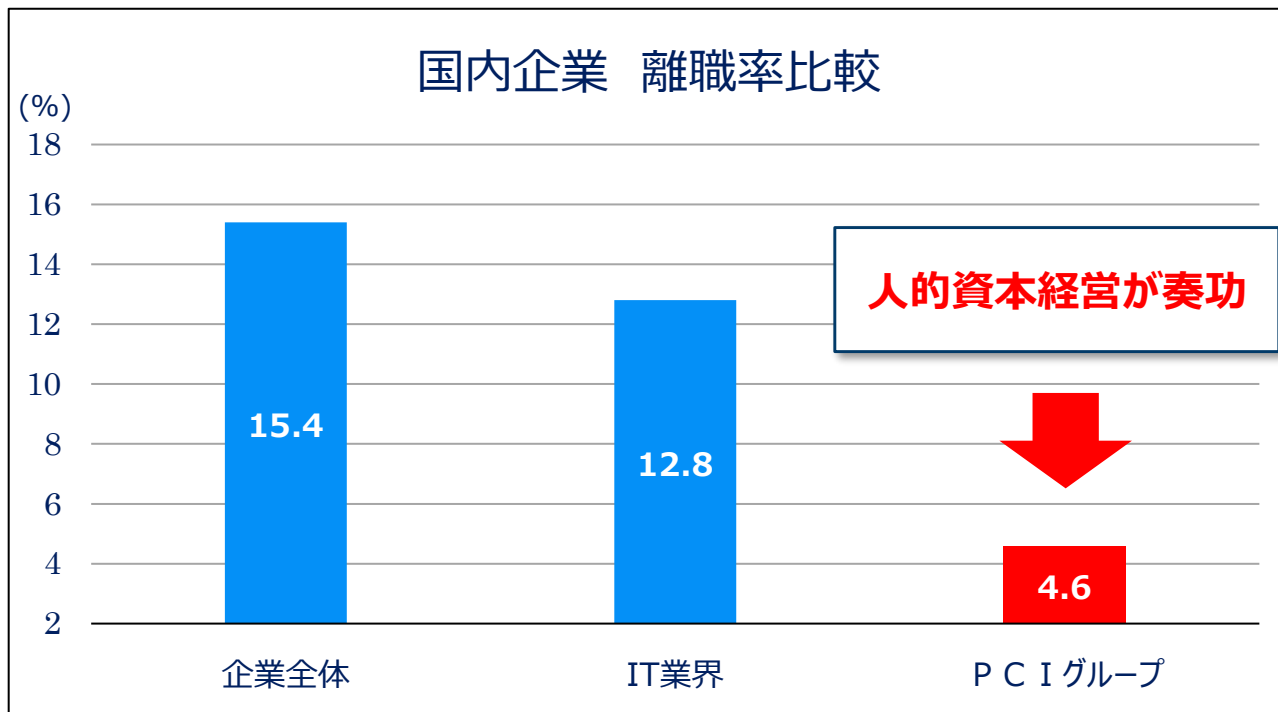
履歴管理

# サステナビリティ

■ 当社は「人」こそが最大の財産。互いの「リスペクト」を最重要とし、事業の成長と企業価値向上を目指しております

## 人的資本経営ポリシー







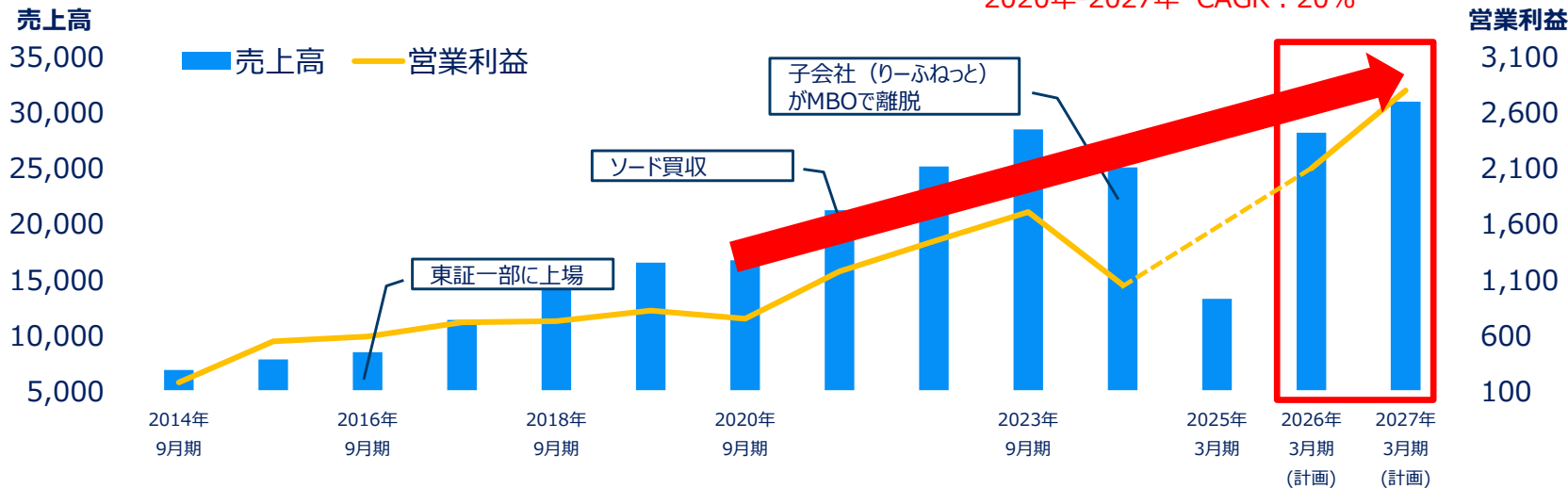
業績

# 当社の業績/計画

## ■ 着実に業績を伸ばし、売上高・営業利益ともに安定的に右肩上がり成長

売上高：  
2020年-2027年 CAGR：9%  
営業利益：  
2020年-2027年 CAGR：20%

(単位：百万円)



2027年3月期目標：  
PBR：2.0倍 ROIC：15%以上 ROE：15%以上

# 直近の業績（26年3月期第2四半期）

## ■ 前年同期間比で増収増益となり、上期計画をすべて達成

(百万円)	①24年4月-9月	②25年4月-9月	増減額 (②-①)	増減率	上期計画	上期計画比
売上高	12,469	13,611	+1,141	+9.2%	13,300	102.3%
売上総利益	2,813	3,217	+404	+14.4%	-	-
売上総利益率	22.6%	23.6%	+1.0p	-	-	-
販管費	2,342	2,451	+109	+4.7%	-	-
営業利益	471	766	+295	+62.6%	680	112.8%
営業利益率	3.8%	5.6%	+1.8p	-	5.1%	109.8%
経常利益	371	791	+420	+113.3%	680	116.5%
親会社株主に帰属 する中間純利益	487	528	+41	+8.6%	425	124.4%
EBITDA	634	930	+295	+46.6%	-	-
EBITDA マージン率	5.1%	6.8%	+1.7p	-	-	-

\*同期間の業績比較をするため、24年4月-9月の業績を比較対象としております。

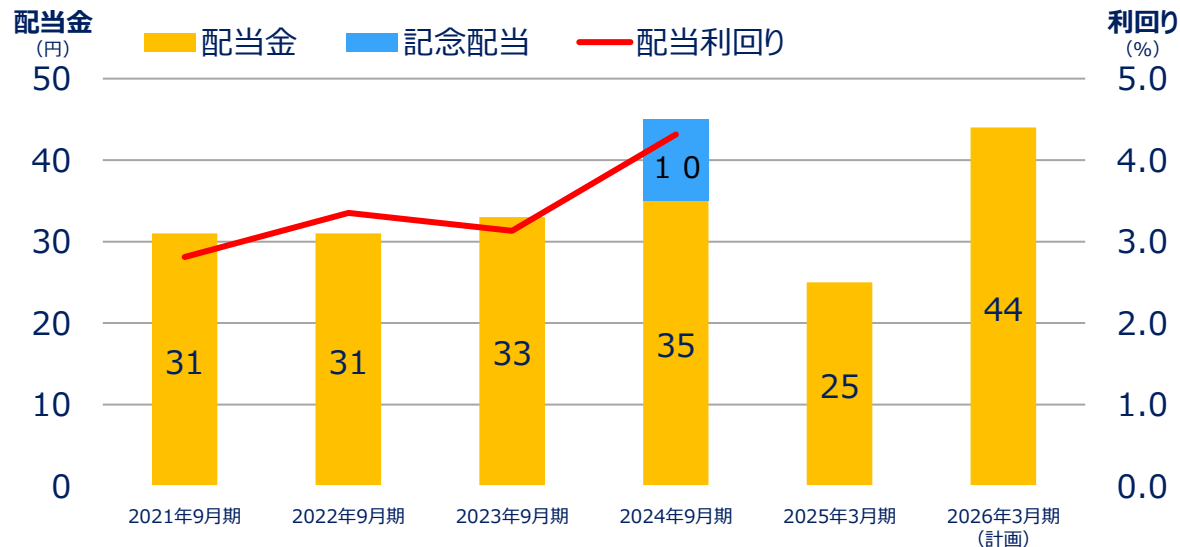


株主還元

## ■株主還元方針：総還元性向50%以上を目指す

■ 26/3期の配当は、中間配当19円、期末配当25円（計画）（年間配当44円を計画）

※機動的な自己株式の取得／消却も随時検討



**直近4年  
配当利回り  
約3%以上**



株価推移

## 3918 : PCIHD 株価推移



# まとめ

今後も持続的な増収増益を目指し、企業価値向上に努めます

## 収益

- ・PBR :2.0倍
- ・ROIC :15%以上
- ・ROE :15%以上



## 成長

- ・人的資本投資
- ・研究開発投資



## 株主還元

- ・総還元性向 :  
50%以上



*Positively, Change, Innovate*



**PCI Holdings, Inc.**

証券コード： **3 9 1 8**

サンキュー っ ぱい

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、  
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、  
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

また、本資料に使用されている写真や図表の一部はイメージです。

万が一この資料の情報に基づいて被ったいかなる損害についても、  
弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

**<お問い合わせ先>**

**PCI ホールディングス株式会社 広報IR室**  
**E-mail : ir@pci-h.co.jp**